

▶ 第3回 東京都教育ビジョン（第5次）検討委員会 会議要旨

（1）「今後5年間の教育施策の目標と基本施策」に挙げられた事項から

ア 特別支援教育の推進について

- 障害のある子供、外国にルーツのある子供、不登校等、様々な教育的ニーズの多様性を包含するということがインクルーシブ教育の考え方の本質である。
- 特別な支援が必要な子供にとって、ICTの活用は、大きな学びの支援になっている。
- 学校において、障害のある子供とない子供が、ユニバーサルデザインやインクルーシブについて考える機会を設けたらどうか。円滑なコミュニケーションや子供目線での課題解決につながるのではないか。

イ 不登校児童・生徒への支援の推進について

- 学校内はもとより、学校外における居場所づくりが一層重要になってくる。オンライン学習の充実も必要。
- 福祉や医療の専門家と、迅速に連携できるような体制の強化が重要。
- 学校とのつながりが全くない子供をなくすことを目指す上で、保護者はキーパーソンである。学校では、不登校等への施策が様々充実しているが、保護者がその使い方を分からない、相談したくても怖くて行けないといった現状がある。保護者への支援において、関係機関や団体等との連携が重要。

※ 委員以外の専門家として、認定特定非営利活動法人 育て上げネット 執行役員 臺田 薫 様を招聘

▶ 第3回 東京都教育ビジョン（第5次）検討委員会 会議要旨

（2）「東京都教育ビジョン（第5次）」の体系について

（全体に関すること）

- 提案された体系案に賛成。必要な考え方や内容が盛り込まれており、よく整理されている。
- これからの子供たちが身に付けなければならない力、学び方へのアプローチを分かりやすく明記したい。

（インクルージョンの推進について）

- 方針7「教育のインクルージョンの推進」の新設に賛成。民間でもD&I（ダイバーシティ&インクルージョン）が加速度的に進められている。
- 学びの場相互の関わりを増加させることや柔軟な仕組みを用意することが重要。
- 特別支援学校や特別支援学級、通常の学級での支援等、様々な障害から生じる教育的ニーズを包括することができる教育・社会が「教育のインクルージョン」の核となることを丁寧に説明できるとよい。

（デジタルの利活用について）

- 「教育データの分析・利活用の推進」に関する内容を盛り込んだらどうか。
- 生成AIの活用について、子供の学びのサポートや教員の業務軽減の視点から検討することが重要。